

平成21年度全国学力・学習状況調査結果概要の公表

東松島市教育委員会

東松島市教育委員会では、「平成21年度全国学力・学習状況調査」に関する結果の概要を以下のとおり公表いたします。

- I 調査の目的
- II 調査年月日
- III 参加児童生徒
- IV 教科に関する調査結果の概要
- V 生活習慣や学習環境等に関する調査結果の概要
- VI 教育委員会や学校の取り組み
- VII 保護者や家庭・地域へのお願い

I 調査の目的

- 1 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 2 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 3 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

II 調査年月日

平成21年4月21日（火）

III 参加児童生徒

東松島市内の10小学校の6年生（405名）、4中学校の3年生（425名）

IV 教科に関する結果の概要

1 教科ごとの特徴

この調査結果は、今回出題された学習内容における結果であり、「学力」すべてを言い表しているものではありません。

教科ごとの大まかな評価は次のとおりです。

◎：「おおむね理解されている」と判断される主な内容

●：「定着が不十分である」と判断される主な内容

「学力」とは

知識・技能に加え、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力

《小学校国語》

- ◎ 文章の内容に合わせて小見出しをつけること。
- ◎ 状況を説明した図から、目的や意図が伝わるように必要な情報を取り出すこと。
- 文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って一文を二分に分けて書くこと。
- 報告文において、調べる内容を見通して必要な事柄を整理したり、目的や意図に応じて事象や意見などを関係付けながら書いたりすること。

《小学校算数》

- ◎ 四則計算を正しく行うこと。特に繰り上がりのある加法、整数と小数の加法、同分母の分数の減法、整数の乗・除法。
- ◎ 直角三角形及び平行四辺形の定義や性質を理解することやグラフから必要な数量を読み取ること。
- 与えられた条件にそって情報を整理し、筋道を立てて考えること。
- 基準量と比較量を基にして、割合の大小を判断し説明すること。

《中学校国語》

- ◎ 文脈に即して漢字を正しく読むことや語句の意味を正しく理解し文脈の中で適切に使うこと。
- ◎ 小説の中で、文章表現の仕方や特徴に注意して内容を正確に読み取ること。
- 主語に対応させて述語を適切に表現すること。
- 短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむこと。

《中学校数学》

- ◎ 比の意味を理解すること。また、() を含む正の数と負の数の計算や単項式同士の乗法の計算をすること。
- ◎ 展開図で示された空間図形について、2つの面の位置関係をとらえること。
- 証明をするための方針を立てたり、方針に基づいて証明したりすること。
- 事象を数学的にとらえ、問題解決の方法を数学的に説明すること。

2 平均正答率

各教科の平均正答率は、宮城県と比較して1.8～7.7ポイント低く、すべての面において対策を講ずる必要があります。

東松島市では、学校間による差や教科による差があります。そこで、各学校がそれぞれに結果を分析するとともに具体的な対策を立て、その結果を学校だよりや保護者会等でお知らせします。

各教科についての東松島市と宮城県、全国との平均正答率の比較は次のとおりです。

		「知識」に関する問題				「活用」に関する問題			
		東松島市 (%)	宮城県 (%)	全 国 (%)	県との比較	東松島市 (%)	宮城県 (%)	全 国 (%)	県との比較
小学校	国語	63.3	67.4	69.9	-4.1	46.8	49.8	50.5	-3.0
	算数	75.7	77.5	78.7	-1.8	51.1	54.0	54.8	-2.9
中学校	国語	74.9	78.1	77.0	-3.2	71.8	76.4	74.5	-4.6
	数学	57.3	62.1	62.7	-4.8	50.0	57.7	56.9	-7.7

「知識」に関する問題 国語A 算数・数学A	○ 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ○ 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
「活用」に関する問題 国語B 算数・数学B	○ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容 ○ 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容など

V 生活習慣や学習環境等に関する調査結果の概要

1 学習に対する関心・意欲・態度

- 「授業内容が分かる」割合は、中学校国語で県平均値よりも上回っているが、そのほかは下回っている。「勉強に対する関心」はどの教科も小・中学校ともに低い。（平均正答率が下回っていることと関係していると思われる）
- 「学習への取り組み」について、中学校国語では県平均値と比べ大きく下回っているが、そのほかは大きな差は見られない。

[単位：％，（ ）：県との比較]

	質 問 事 項	小学校	中学校
1	国語の勉強は好きですか。	53.8 (-4.2)	56.2 (-3.2)
2	国語の授業の内容はよく分かりますか。	78.2 (-1.9)	71.7 (+1.6)
3	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。	54.6 (-1.6)	35.5 (-9.5)
4	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか。	68.9 (+2.2)	49.9 (-8.7)
5	算数・数学の勉強は好きですか。	67.4 (-1.1)	48.9 (-4.8)
6	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。	78.3 (-1.9)	61.2 (-1.2)
7	算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	68.6 (+1.5)	35.7 (-1.1)
8	算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。	76.0 (-1.6)	77.7 (+0.9)

2 基本的な生活習慣，家庭生活，家庭でのコミュニケーション

- 「朝食を毎日取る」小・中学生の割合は高いが、中学生は県平均値（全国平均値）よりも下回っている。
- 「朝食や夕食を家族と一緒に取る」，「家族と会話する」割合は、小・中学生とも県平均値を上回っている。
- 「早寝，早起き」する小・中学生の割合は、県平均値を上回っている。
- 「テレビゲームを3時間以上行う」中学生の割合が県平均値を上回っているととも、 「テレビやビデオ，DVDを3時間以上視聴する」小学生の割合も大きく上回っている。（家庭学習時間不足と関連）

- 「インターネットをしない」割合が小・中学生とも県平均値を大きく上回っている。また、「携帯電話を持っていない」割合も上回り、その結果として「携帯電話での通話やメール」の割合は下回っている。
- 「家の手伝いをする」、「近所の人へあいさつをする」割合は、小・中学生とも県平均値より下回り、中学生ほどその差が大きい。

[単位：％，（ ）：県との比較]

	質 問 事 項	小学校	中学校
1	朝食を毎日食べていますか。	96.8 (+0.2)	92.2 (-1.8)
2	普段（月～金曜日），何時ごろに起きますか。 （午前6時30分より前）	46.2 (+6.4)	30.2 (+0.3)
3	普段（月～金曜日），何時ごろに寝ますか。 （小：午後10時前，中：午後11時前）	51.6 (+0.5)	35.8 (+1.5)
4	普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビやビデオ，DVDを見たり，聞いたりしますか。（3時間以上）	59.8 (+8.7)	42.2 (+1.8)
5	普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビゲームをしますか。（3時間以上）	13.6 (+0.6)	14.9 (+4.4)
6	普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，インターネットをしますか。（3時間以上）	2.2 (-1.2)	8.0 (-0.1)
7	普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，インターネットをしますか。（全くしない）	62.7 (+7.3)	50.4 (+12.1)
8	携帯電話で通話やメールをしていますか。	16.3 (-4.2)	46.3 (-4.6)
9	携帯電話を持っていない。	76.3 (+3.2)	48.9 (+4.4)
10	家の手伝いをしていますか。	80.7 (-1.3)	66.4 (-1.9)
11	家の人と普段（月～金曜日），朝食を一緒に食べていますか。	68.7 (+2.7)	51.1 (+2.5)
12	家の人と普段（月～金曜日），夕食を一緒に食べていますか。	92.6 (+1.3)	88.7 (+3.0)
13	家の人と学校での出来事について話をしていますか。	71.6 (+0.6)	62.9 (+1.8)
14	近所の人に会ったときは，あいさつをしていますか	89.1 (-1.7)	78.6 (-5.4)

3 学習時間等

- 「家庭で計画を立てて勉強する」割合は、小学生は県平均値を上回っているが中学生は下回っている。小・中学生とも予習より復習を行っている割合が高いが、県平均値と比べると、小学生の復習を除きその値は下回っている。
- 「平日に家庭で学習する時間」について、小学生は県平均値を上回り学習時間が長くなるほどその差も大きくなっている。しかし、中学生はどの時間帯も下回っている（中学生の家庭学習不足が目立つ）。反面、「土・日曜日の家庭学習の時間」は中学生が県平均値を上回っている。

[単位：％，（ ）：県との比較]

質 問 事 項		小学校	中学校	
1	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	56.6 (+1.1)	39.0 (-1.1)	
2	家で学校の授業の予習をしていますか。	38.2 (-4.4)	31.0 (-11.1)	
3	家で学校の授業の復習をしていますか。	58.3 (+3.4)	49.4 (-0.3)	
4	学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（塾を含む）	0分	1.5 (-1.2)	10.6 (+3.6)
		30分以上	90.1 (+4.0)	77.7 (-4.0)
		1時間以上	61.5 (+4.6)	59.3 (-2.9)
		2時間以上	25.2 (+5.5)	24.5 (-4.6)
5	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（小：2時間以上、中：3時間以上）	17.3 (-0.6)	15.5 (+2.0)	

4 自尊感情、規範意識

- 「自己肯定感」や「達成感」、「将来への希望」に関して、小・中学生とも県平均値を下回っている。特に、中学生の「自己肯定感」は大きく下回っている。
- 「規範意識」に関して、小・中学生とも高い割合を示しているが、「学校のきまりを守っている」中学生の割合が県平均値を大きく下回っている。

[単位：％，（ ）：県との比較]

質 問 事 項		小学校	中学校
1	自分にはよいところがあると思いますか。	66.4 (-6.5)	51.8 (-9.8)
2	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。	93.3 (-0.5)	90.8 (-2.1)
3	将来の夢や目標を持っていますか。	83.2 (-2.4)	68.7 (-2.6)
4	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	91.3 (-0.5)	89.9 (-0.5)
5	学校のきまりを守っていますか。	93.3 (+5.7)	81.9 (-7.4)
6	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。	95.0 (-0.1)	89.9 (-0.8)

VI 教育委員会や学校の取り組み

東松島市教育委員会は今年度より2年間、宮城県教育委員会から「市町村教育委員会学力向上パワーアップ支援事業」の指定を受けることにしました。この事業の中で、市内全小・中学校が共通して取り組むことや各学校が工夫して独自に取り組むことを通じて児童生徒の学力向上を図ります。

事業推進に当たっては、次の3つを重点とします。

- ① 教職員の授業改善及び指導力向上
 - ② 児童生徒の学習意欲の向上
 - ③ 基本的学習習慣の確立を土台とする児童生徒の家庭学習の習慣化
- また、次のような実践を行っています。
- ① 教職員対象の教育講演会
 - 宮城教育大学教授田端輝彦先生をお招きして「今求められている算数・数学の授業改善」という題で講話をしていただきました。
 - ② 保護者対象の教育講演会
 - 岩沼市教育委員会教育長景山一郎先生をお招きして「笑顔のある人生を！～子は親の鏡～」という題で講話をしていただきました。
 - ③ 教職員対象の研修会
 - 筑波大学付属小学校盛山隆雄先生をお招きして矢本東小学校の児童に算数の模範授業をしていただき、それを参観しました。また、授業改善に関する講話もしていただきました。
 - 市内の中学校を会場に英語科の授業参観を行うとともに、東北学院大学教授村野井仁先生や小・中学校代表の先生等をお招きし「小・中連携を図った授業改善をどう進めるか」という題でパネルディスカッションを行いました。
 - ④ 中学校区における授業研究会（6回）
 - 各中学校区単位で小・中学校の教員が一堂に会して授業を参観するとともに、授業の改善や指導力の向上を目指して話し合いを行いました。
 - ⑤ 「学習の手引き」の作成と配布
 - 小・中学校別に「学習の手引き」を作成して全児童生徒に配布し、学習の習慣化を図ることができるよう指導しています。小学校用は家庭学習の進め方を中心に保護者にも参考になる内容にしています。中学校用は教科ごとに「授業の受け方」や「家庭学習の進め方」「評価のあり方」等を示し、生徒が主体的に学習に取り組めるような内容にしています。
 - ⑥ 小・中学校への指導

次のことを指導しています。

 - 小・中学校ごとに今回の結果を分析し、課題を明確にすること。
 - 改善の方策等について学校だよりや保護者会等を利用して通知すること。
 - 具体的な授業改善に全校体制で取り組み、児童生徒の学力向上を図ること。

VII 保護者や家庭・地域へのお願い

子供たちの「学力」は、学習への意欲や基本的な生活習慣、家庭の雰囲気、地域の皆さんの温かい見守りなどとも大きく関連があります。各家庭において、将来への「志」をもたせることや自立心を養うことが学力向上の土台となりますので、家庭での団らんや将来の夢、親子での読書や学習の機会を大切にしていきたいと思っております。また、地域の皆さんにはいつでも目をかけ、声をかけながら、地域で子供を育てていただくことを願っています。